

## 那覇空港調査PI実施計画(素案)に対するご意見及び対応方針(案)

いただいたご意見...72件(47人)

ご意見の区分	区分詳細	ご意見の概要	対応方針(案)	No.
P I実施計画(素案)について	PI導入への評価	これまでの公共事業にはなかった新たな試みであり、PIの実施状況等に対する評価、助言を第三者機関である那覇空港調査PI評価委員会に委ねる方法などは画期的な取り組みであると高く評価できる。 PIには計画策定プロセスの最も大切な思考・判断過程の共有化が前提とされていることから、その限りにおいて高い有効性が認められるので期待する。 米・シリコンバレーのまちづくりにおけるコンソーシアムの結成とあり方、行政関与の手法などが参考になるのは。	那覇空港のあり方は地域の将来に大きな影響を及ぼすものと考えられますので、総合的な調査については透明性、公平性や公正性を確保し、みなさまの幅広いご意見を参考にしながら進めています。 今回のPI実施計画はそのための具体的な仕組みを示したものであり、今後PIを実施していく際には、みなさまの信頼とご期待に応えられるよう、努力していきます。	1 2 3
		PIと意思決定は別である、実施主体は那覇空港PI評価委員会の助言を受けて意思決定するとあるが、意思決定に関与しない意見参加とは何であるのか。	総合的な調査を進めるにあたり、みなさまからの多種多様なご意見をそのまま計画に反映していくわけではなく、頂いたご意見等の妥当性・実現性を総合的に検討し、総合的な調査や計画を進めていくこととしています。 そういう意味でPIと意思決定は分離しており、PIが意思決定する場ではないことを共通の認識とするということであり、決して意思決定に直接関与しない意見参加という意味ではありません。	4
	基本方針	方針については常識的な内容で妥当だと思うが、最も重視していることを絞り込んでいいのではないか。	6つの基本方針はPIを実施するにあたってのPI実施主体の姿勢を表しているものであり、各方針とも重要なものと考えています。	5
	PIの進め方	那覇空港調査PI評価委員会の評価・助言を、PI終了の決定がなされる前に公表してほしい。	那覇空港調査PI評価委員会は公開の上、開催することとなっており、評価・助言の内容は、原則としてPI終了前にインターネット上で公表することとなっています。 しかし、PIのステップ実施後に開催されるPI評価委員会の評価・助言については、直後に開催される那覇空港調査連絡調整会議幹事会のPI終了の是非の決定と併せて公表することとしています。	6
		PI実施計画の見直し基準はどの程度のレベルか。	PI実施計画の見直しに当たっては、見直し基準を設定せずに、那覇空港調査PI評価委員会からの助言を受けて、総合的に判断して行うこととしています。	7
		ステップ2、3の具体的な実施年度を提示してほしい。	PIの実施に際しては、双方向のコミュニケーションを基本に、十分に情報を提供し、意見を収集していくこととなります。そのため、現時点では全体のスケジュールを予め示すことは難しいと考えています。 一方、タイミングや迅速性に留意したPIを実施するなど適切な進行管理に留意します。	8

## 那覇空港調査PI実施計画(素案)に対するご意見及び対応方針(案)

ご意見の区分	区分詳細	ご意見の概要	対応方針(案)	No.
PI実施計画(素案)について	PIの進め方	各ステップ毎に、PIの目標及び提供を予定している情報について定められている点が評価できる。	情報の共有から那覇空港の将来をより良くするための方策の是非までをステップごとに分け、判断プロセスを明確にして分かり易くし、その内容についても極力分かり易くしていく予定です。	9
		PIの進め方については、段階的に行なうことは良いと思う。公表するPIレポートは分かりやすいものにしてほしい。		10
		PIのステップ1～3の課程を単に情報共有・意見聴取といった平板に捉えずに、この3ステップがもつ意味、思考・判断プロセスにおける重要な機能を双方がしっかり認識しあうことが大切。		11
		那覇空港の滑走路1本では、事故・天災による閉鎖や将来需要に対応できないのではないかと不安がある。PIは効率的にまとめ、早めに事業実施に結びつけてほしい。	タイミングや迅速性に留意したPIを実施するなど適切な時間管理に留意します。	12
		小型航空機使用事業や航空機を使用した急患輸送、公安及び防災等の、那覇空港が果たしている様々な役割について、初期の段階から検討し、調和のとれた全体計画を策定してもらいたい。	急患輸送、防災等の様々な役割についても重要性、緊急性を充分に検討して全体計画を策定していきます。	13
		シンポジウムの開催がステップ2、3のみ開催となっているが、ステップ1でも必要ではないか。ステップ1の段階からひろく県民の意見、参加を得るべき。	主にステップ1では那覇空港の利用状況、役割、効果等の基礎的な情報の共有を行うこととしています。学識経験者等の講演やパネルディスカッション等を行なうシンポジウムの開催は予定しておりませんが、PIレポートの説明会に県民のみなさまの参加を呼びかけ、幅広い意見を収集します。	14
		今までのやり方では時間切れ等で計画や方針が反故にされる傾向があるので、スケジュール等について時間切れにならないよう、意見が生かされるよう十分工夫してほしい。	頂いたご意見は、那覇空港の将来をより良くするための貴重なご意見として、妥当性・実現性を総合的に検討し、総合的な調査や計画を進めていくこととしています。	15
	目標達成の判断基準	PIの目標設定がよく分わからない。将来、PI実施主体が目標達成したかどうか判断する基準はあるのかが知りたい。	PI実施計画では、総合的な調査の結果等を情報公開し、ご意見を参考にしながら進めていくこととしています。そのため、PIの各ステップではみなさまとPI実施主体が、各ステップごとに設定した情報を共有することを目標としています。	16
		目標を達成したかどうかは自己判断とあるが、どのように判断するのか。判断基準等は作成されているのか。	また、目標が達成されたかどうかについては、収集した意見の内容、那覇空港調査PI評価委員会の評価、助言等を踏まえて総合的に判断することとしています。	17

## 那覇空港調査PI実施計画(素案)に対するご意見及び対応方針(案)

ご意見の区分	区分詳細	ご意見の概要	対応方針(案)	No.
PI実施計画(素案)について	情報提供のあり方	提供予定の情報(ステップ3)について、PI段階とはいえ費用対効果、環境への影響などは極力正確な情報を提供してほしい。	正確な情報を提供することは、PIにおいて最も基本的な事項であると認識しています。みなさまの信頼とご期待に応えられるよう、努力していきます。	18
		那覇空港の現在の状況についての情報提供は良いことだと思う。		19
		環境問題やアクセスの容易性(ユニバーサルデザインなど)等の課題について、情報提供・交換が行われるべきではないか。	PI実施計画では、調査の進捗に合わせて段階的に情報の共有を図ることとしています。 なお環境問題につきましては、ステップ3で情報の共有化を図る予定です。	20
		PI導入は賛成。収集された意見で、多かった意見だけでいいので、ホームページ等で公表して欲しい。	みなさまから頂いたご意見は、個人に関する情報を除き、意見に対するPI実施主体の考え方や対応方法とあわせて公表することとしています。	21
	意見収集のあり方	アンケートに氏名・住所等記載するようになっているが、個人情報保護はどの様に対処しているのか。	匿名意見の場合、誹謗・中傷などの無責任な意見が氾濫する可能性があるため、氏名・住所(市町村名まで)を記入事項として設けることとしました。	22
		名前・住所を記入すると、意見を出しにくい。	個人情報の保護につきましては、細心の注意を払います。 (意見を公表する際には、個人名や住所等の個人情報は、公表しません。)	23
		収集する意見の最低限目標値(最低件)を設定したほうが望ましいのではないか。	限られた期間でより多くの意見を得るよう努力してまいります。	24
	周知広報のあり方	一般住民から意見募集しているということを、最近まで知らなかった。PI実施主体の周知広報については、全く知らなかったという住民が余りにも多いのではないか。	PIにおいては、広く多くのみなさまに参加して頂くことが重要となります。	25
		プロジェクトの進行には情報の共有が不可欠。県民の声、専門家の助言に耳を傾け、常時メディアや広報を通して県民に周知広報することが大切。	効果的な周知を行い、より多くのみなさまに知って頂けるよう工夫していきます。	26
	具体的なPI手法の提案	県民が計画段階から参加できる事は良いと思う。空港で簡単に情報の入手、あるいは意見の提出ができるようにして欲しい。	PIにおいては、ステップの課題や内容に応じて、適切かつ多様な情報提供や意見収集、周知・広報の手法を導入することとしています。	27
		沖縄での国内的・国際的なイベントや、今後の旅客数の根拠ある予測、台風・事故などの災害が起こったときの空港の状況等を分かりやすく伝えることで、より具体的な意見が得られると思う。	今回頂いたご意見については、費用の制約はあります が今後のPI実施の際に考慮します。	28
		人の交流の多いパレット久茂地前などでパンフレットを配布してほしい。一般県民が、県庁など指定された所に出向くには抵抗がある。		29

## 那覇空港調査PI実施計画(素案)に対するご意見及び対応方針(案)

ご意見の区分	区分詳細	ご意見の概要	対応方針(案)	No.
PI実施計画(素案)について	具体的なPI手法の提案	情報提供の手法はもう少し絞り込み、直接県民と意見交換する説明会や協議会を重点的に行うべきではないか。		30
		離島にいる私達にも那覇の現状がよく理解できるよう、シンポジウム、市民協議会の模様はテレビ放送してほしい。		31
		空港の利用者は飛行機の乗客であることが多いので、飛行機の機内誌へ掲載してみてはどうか。		32
		何らかの良い意見を出した人には景品がある等を盛り込むと、見る側の人の目を引きつける誘因になる。		33
		意見提出様式にYes・No形式を取り入れてはどうか。		34
		個人情報保護の遵守等の他に、特段に有意義と認められた意見者の「クリエイティブ・ミックス」への参画や、個別討論会での聴取などを、取り入れていくべき。		35
		アンケート実施前に説明会等があれば、よりアンケート回答が書きやすい。		36
		PI開始の周知に、県がもっているラジオ、テレビ番組を活用してはどうか。		37
		PIの告知では新聞とポスターだけでなくTV・ラジオなど、より多くの県民に告知できるようにして欲しい。		38
		PI開始の周知・広報にNHKも利用すべき。		39
		那覇空港の見学会では、将来モデルになる空港の見学も追加して、比較検討しやすいようにすべき。	ご提案の件については費用の面で難しいですが、ホームページ上で、他空港の紹介等を行って行きたいと考えています。（中部国際空港等）	40
PIの実施期間		PI実施期間が四ヶ月程度と書かれているが、どのようなペースで進めていくのか抽象的ではっきりしていないように感じる。	PIは、時間管理の観点から集中して効果的に実施する必要があると考えています。	41
		PI実施期間（四ヶ月）は短い。現時点では総合的な調査に対して関心が薄く、もの言わぬ県民性等を考慮し、時間をかけて周知・実施すべき。	今回は、時間管理の観点から概ねの目安として、4ヶ月と設定しておりますが、内容の分かり易いPIを行って短期間で多くの意見を頂けるよう努力していきます。	42

## 那覇空港調査PI実施計画(素案)に対するご意見及び対応方針(案)

ご意見の区分	区分詳細	ご意見の概要	対応方針(案)	No.
		情報提供・意見収集の期間は何ヶ月間、終了後の手続きに何ヶ月間と明示してはどうか。		43

## 那覇空港調査PI実施計画(素案)に対するご意見及び対応方針(案)

ご意見の区分	区分詳細	ご意見の概要	対応方針(案)	No.
P I 実施計画 (素案)について	PI評価委員会	那覇空港調査PI評価委員会の構成等をくわしく知りたい。	那覇空港調査PI評価委員会の構成や規約等は、別途公表します。	44
	パンフレットの表現方法	「PI」という言葉を使うこと自体、方針2の「分かりやすい情報提供」になつてないのではないか。  分かりやすい情報提供に努めるとあるが、パブリック・インボルブメント、PI等のカタカナの使用が多くて理解できない。  「適切なPI手法」という言葉の意味がよく分からない。PIとは何かの説明が不十分だと思う。	PI(パブリック・インボルブメント)とは「政策決定や公共事業の計画策定等において、国民や地元住民が意見を表明できる場所を設けて、その意見を参考に計画を進めていく手法」を言います。適切な日本語がないため、PIという言葉を使用しています。	45
		パンフレットが分かりづらく、読み進めようという気にならない。	分かりにくいとのご指摘を踏まえ、今後作成するPI実施計画ではより分かりやすいものとなるよう、構成や表現方法等を工夫していきます。	46
		パンフレットが漠然としすぎてイメージがつかみにくい。もう少し具体論を記載した方が良いのでは。		47
		パンフレットの一つ一つが細かすぎて、どこが大事な所なのか分かりづらい。		48
		パンフレットが読みにくい。PIの目標というのも分かりづらい。		49
		ステップ2・3のPI目標と、提供する情報の結び付きがイメージしにくい。		50
		パンフレットの文章が難しく、幅広い意見の収集であれば誰が見てもすぐ理解できるものであつてほしい。今回のは行政用のパンフレットだと思う。  パンフレット内で使用されている表現が抽象的で具体的な例示が少ないため、内容が漠然としている。		51
		PIプロセスが公共事業計画に導入された経緯等を、私たち住民に周知させ印象付ける手法を考慮するべき。		52
		PIという言葉の意味や、どうしてPIをするのかが伝わらない。		53
				54
				55
				56

## 那覇空港調査PI実施計画(素案)に対するご意見及び対応方針(案)

ご意見の区分	区分詳細	ご意見の概要	対応方針(案)	No.
P I実施計画(素案)について	パンフレットの表現方法	「那覇空港の将来を考える総合的な調査を実施します」ではインパクトが弱い。近い将来、空港の機能がマヒ状態に陥るので、調査を実施して現空港を改善したい、等の文言を冒頭にもって来るべき。		57
	ホームページ	ホームページのパンフは見開きを1ページとして掲載しているので、字が読めない箇所が相当箇所ある。	ご指摘のとおり、拡大しないと読めない箇所が数多く見受けられました。次回更新時からはこの点を修正し、掲載します。	58
空港整備事業について	抜本的な空港能力向上	ターミナルの施設は未だ不十分であり、今後ハブ空港として発展するためにその拡充整備が不可欠である。	総合的な調査においては、今後、将来需要予測を実施し、長期的な視点に立って対応策等を検討していきます。 今回いただいたご意見につきましては、今後の検討の参考とします。	59
		滑走路が1本しかない現在の那覇空港で、今以上に観光客を増やすことが可能なのか。ましてや自衛隊もあり、なにかあった後では観光立県沖縄が大打撃を受けるのは目に見える。一日も早く沖合い展開をしてほしい。		60
		那覇空港が今後10年、20年先の観光客の増加に対応できるのか疑問。整備計画については、長期的視点に立った、しっかりととしたビジョン形成の下に検討がなされる必要がある。		61
		中部国際空港のように、民間の活力とアイディアを大いに活用し、沖縄の発展に繋がる空港づくりを実現してほしい。		62
	既存ストックの有効活用	今回の空港計画には、旧国内ターミナルや沖縄フリーゾーンを有効活用してほしい。		63
		旧ターミナル地区は何か作る計画はあるのか。		64
航空サービスについて	施設	羽田空港のように、ゆっくり座って飲食しながらインターネットを利用できる施設を新設してほしい。現在は立ちっぱなしで、使用料も高く、故障しがち。		65
		台風で運休した際、ホテル予約ができない人は空港1階で夜を明かしている。沖縄では台風が多いので、臨時的な宿泊施設を作るべき。		66
	運用	深夜便で那覇到着後、満席で手荷物も多いためにモノレールの最終便に間に合わない。深夜の連携を見直してほしい。		67
		空港内の発券手続、搭乗手続にあまりにも時間がかかる。観光の最後でがっかりしてしまうので、何とかしてほしい。		68

## 那覇空港調査PI実施計画(素案)に対するご意見及び対応方針(案)

ご意見の区分	区分詳細	ご意見の概要	対応方針(案)	No.
その他の那覇空港に関する意見	その他	那覇空港に隣接する豊見城、糸満の両市がカジノ誘致を行っている。空港にプラスになる計画については、注意深く動向を確認する組織を考えてほしい。		69
		滑走路を沖合に増設する話を聞いたことがあるが、今後航空需要は伸びるのか。		70
		国境警備、トラブル発生時の被害等を総合的に捉え、那覇空港の航空自衛隊は下地島空港に移転すべき。		71
		沖縄の自衛隊は陸海空そろっているので、自衛隊基地での祭り事を増やし、アピールすることで基地との相互存在価値を高めてはどうか。		72